

科目ナンバリング		U-LAS01 20021 SJ38							
授業科目名 <英訳>		ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナールIIB Introductory Seminar on European Social History IIB			担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 佐藤 公美		
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	歴史・文明(各論)			使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	水5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>本ゼミナールでは、歴史学の重要な古典的研究書とともに、それを乗り越えてきた研究も精読し、多角的な視点から研究と向き合うことを学びます。併せてヨーロッパ前近代史研究に関する基本的な事項と、史料研究についての基礎的な知識を学びます。今回取り上げる文献は堀米庸三『正統と異端 ヨーロッパ精神の底流』とジャイルズ・コンスタブル『十二世紀宗教改革 修道制の刷新と西洋中世社会』です。</p> <p>研究は新しい研究によって必ず乗り越えられてゆくものですが、研究書の中には乗り越えられて一層輝きを増す古典的名著があります。学説そのものは批判され、修正されても、時代時代に既存の歴史認識を大きく変えた研究には、広い視野と大きな問題意識、研ぎ澄まされた思考力、革新的方法、そして情熱があります。それは、常識に縛られず新しい研究を生み出すとはどういう事かを、自らの限界そのものによって読む人に示し続けてくれます。</p> <p>未来は来し方を知る者の手にあります。乗り越えるべき対象と対話し、自らの歴史=血肉とした人には、必ず新たな、自分自身の学問を生み出す力が宿るでしょう。この古典再訪ゼミがその小さな一歩になれば幸いです。</p>									
【到達目標】									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヨーロッパ前近代史に関する研究書を日本語で精読し理解する力を身に着ける。</li> <li>2. 専門研究文献の理解に基づいた議論を行い、適切な説明や問題提起を行うことができる。</li> <li>3. 精読する文献に関連するヨーロッパ前近代史の基本的事項を理解する。</li> <li>4. ヨーロッパ前近代史研究に用いられる史資料に関する初歩的な知識を身に着ける。</li> </ol>									
【授業計画と内容】									
<p>1. イントロダクション 授業の進め方の確認 取り上げる文献の概要と関連事項についての導入的説明 報告担当の分担 文献・資料の検索と収集の仕案内</p> <p>第2回～第8回 堀米庸三『正統と異端 ヨーロッパ精神の底流』を読む</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. まえがき / 第1章 ローマ法王権の負い目</li> <li>3. 第2章 正統と異端の理論的諸問題</li> <li>4. 第3章 キリスト教的正統論争の争点 秘跡論</li> <li>5. 第4章 グレゴリウス改革と秘跡論争</li> <li>6. 第5章 グレゴリウス改革と秘跡論争(続)</li> <li>7. 第6章 グレゴリウス改革と十二世紀の宗教運動</li> <li>8. 第7章 イノセント三世と宗教運動・解説</li> </ol> <p>第9回～第14回 ジャイルズ・コンスタブル『十二世紀宗教改革 修道制の刷新と西洋中世社会』</p>									
ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナールIIB(2)へ続く									

を読む

9. 序文 / 第1章 導入
10. 第2章 さまざまな改革者 / 第3章 改革の種類とその条件
11. 第4章 改革のレトリック / 第5章 改革の現実1 共同体内の変動
12. 第6章 改革の現実2 修道活動と世俗社会 / 第7章 改革の霊性
13. 第8章 十二世紀社会のなかで / 訳者解説 十二世紀変革論の現在 (小澤実)
14. 『正統と異端 ヨーロッパ精神の底流』と『十二世紀宗教改革 修道制の刷新と西洋中世社会』を比較する / 更なる深めのための文献ガイド
15. フィードバック及び全体のまとめ

#### 【履修要件】

高校で世界史を履修していることが望ましい。履修していない場合には、ヨーロッパ前近代史に関して高校世界史を履修した場合と同等の基礎的知識を持っている、もしくは自ら適宜修得する意志があること。

#### 【成績評価の方法・観点】

平常点で評価します。報告と討論への参加の内容に基づき、上記到達目標を踏まえて総合的に評価します。

#### 【教科書】

堀米庸三 『正統と異端 ヨーロッパ精神の底流』 (中央公論者 (中公文庫), 2013年) ISBN:978-4-12-205784-5 (中公文庫の原本は中公新書、1964年刊。)  
ジャイルズ・コンスタブル 『十二世紀宗教改革 修道制の刷新と西洋中世社会』 (慶應義塾大学出版会, 2014年) ISBN:978-4-7664-2134-7 (原著はThe Reformation of the Twelfth Century (Cambridge, 1996))  
教科書の入手や使用方法については第1回授業時に指示します。ま

#### 【参考書等】

(参考書)  
授業中に紹介する  
教科書以外の参考文献は授業中に随時指示します。

#### 【授業外学修 (予習・復習) 等】

文献の予習は必須です。参加者は全員が毎回の章を事前に読み込んで臨んでもらいますが、報告担当者は特に十分な時間をとって準備しレジュメ等の資料を作成してください。また随時紹介・配布する資料や文献にも目を通しておくことが望ましいでしょう。

#### 【その他 (オフィスアワー等)】

卒業論文に向けて専門研究を進めてゆけば、やがて最新の研究書や論文を次々に読んでゆく忙しい大学生活が待っています。しかしすべての新しいものの根は古典にあるのです。今こそ古典的研究をじっくり読み、議論しましょう。

また、古典的名著には必ず専門分野を越えた意味があります。文系、理系、専攻を問わず、時間に鍛え抜かれた古典と一緒に向き合うことから得られるものが必ずあるはずで、自ら関心を広め、積極的に臨んでください。